

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	5	事例№	4	依頼者	岩倉市建設部環境保全課	実施場所	岩倉北小学校
実施対象	小学4年生 4クラス 計124名						
実施日時	令和5年6月5日（月） 8時45分～9時30分、9時40分～10時25分、 10時55分～11時40分、11時50分～12時35分						
テーマ	緑のカーテン教室 ～地球温暖化防止に向けて取り組もう						

●依頼内容

より多くの家庭で緑のカーテンづくりに取り組んでもらうため、岩倉市内の小学校の児童を対象に「緑のカーテン教室」を行いたい。この授業の講師を紹介してほしい。

●講師：堀田英夫 氏（愛知県地球温暖化防止活動推進員）

堀田英夫氏は、愛知県地球温暖化防止活動推進員として、毎年、地元扶桑町内の小学校でストップ温暖化教室の出前講座を行っている。

●授業の内容 （各クラスとも同じ内容・流れで実施）

講義	地球温暖化問題と緑のカーテンについて	自己紹介の後、地球温暖化の原因や仕組み及び対策について、また、緑のカーテンの効果や、ゴーヤを使った緑のカーテンづくりについて、講師から説明が行われた。地球温暖化の主な原因は、人間活動によって増え過ぎた二酸化炭素であり、これに対して植物は、二酸化炭素を吸収してくれることから、植物を植えることや森を守るとは、地球温暖化防止のために大切であるということを知り学んだ。また、ゴーヤを植えて作る緑のカーテンは、部屋の温度を下げるため省エネになるだけでなく、収穫の楽しみも生まれると、講師から説明があった。最後に、屋外での植え付け実習に先立って、ゴーヤの苗の植え方や水のやり方、成長に合わせた手入れの方法について説明が行われ、さらに、緑のカーテンを上手に作るコツ、育てる際の観察のポイント、収穫したゴーヤの食べ方などについて講師から紹介があった。	20分
移動			5分
実習	ゴーヤの植え付け体験	児童たちはグループに分かれて、プランターにゴーヤの苗の植え付けを行った。講義で学んだ手順に従って、穴を掘って水をたっぷり注ぎ、水が土にしみ込んだら苗を植え、土をしっかりと押さえて植え付けを完了させた。授業の最後に、岩倉市からゴーヤの苗が2苗ずつ児童に配布され、家に持ち帰って育ててほしいと案内があった。	20分

●授業の様子

講義では、イラストや写真をたくさん取り入れたパワーポイントを使って丁寧に説明がなされ、子どもたちは集中して話を聞いていた。ゴーヤの苗の植え付け体験では、子どもたちは講師や担任の先生の指示に従い、グループ内でそれぞれに役割分担をして、声を掛け合いながら、土に穴を掘り、水を注ぎ、苗を植えていた。

地球温暖化問題と緑のカーテンづくりについて学んだ。



ゴーヤの苗の植え付け体験を行った。

